令和８年度九州女子大学家政学部三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の２ 家政学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、人間生活とその環境に関する学問領域と食と栄養に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　生活デザイン学科は、人間生活とその環境に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　栄養学科は、食と栄養に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた管理栄養士の育成を目的とする。

	大学全体	家政学部	
		生活デザイン学科	栄養学科
卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	生活デザイン学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間生活とその環境に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 管理栄養士として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 食と栄養に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 管理栄養士として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	生活デザイン学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間生活とその環境に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的な知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、専門基礎分野、専門分野に区分し、専門基礎分野を「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」の３領域、専門分野を「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」「総合演習」「臨地実習」の８領域で構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	生活デザイン学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間生活とその環境に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語に加え、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和８年度九州女子大学人間科学部三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の３ 人間科学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、子どもの教育及び発達支援に関する学問領域と人間の心理・文化に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　児童・幼児教育学科は、子どもの教育及び発達支援に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　心理・文化学科は、人間の心理と文化に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。

	大学全体	人間科学部	
		児童・幼児教育学科	心理・文化学科
卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	児童・幼児教育学科では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（教育学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・保育者として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・保育者としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	心理・文化学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（文学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間の心理と文化に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	児童・幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童教育コースと幼児教育・保育コースの２コースで構成し、教育者・保育者として必要な子どもの教育および発達支援に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、学科共通科目を初等教育領域、特別支援領域の２領域、コース科目を児童教育コース、幼児教育・保育コースの２コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	心理・文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間の心理と文化に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実技・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	児童・幼児教育学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 子どもの教育や発達支援に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	心理・文化学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間の心理や文化に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和７年度九州女子大学家政学部三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の２ 家政学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、人間生活とその環境に関する学問領域と食と栄養に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　生活デザイン学科は、人間生活とその環境に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　栄養学科は、食と栄養に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた管理栄養士の育成を目的とする。

	大学全体	家　政　学　部	
		生活デザイン学科	栄養学科
卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	生活デザイン学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間生活とその環境に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 管理栄養士として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 食と栄養に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 管理栄養士として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	生活デザイン学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間生活とその環境に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的な知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、専門基礎分野、専門分野に区分し、専門基礎分野を「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」の３領域、専門分野を「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」「総合演習」「臨地実習」の８領域で構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	生活デザイン学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間生活とその環境に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和７年度九州女子大学人間科学部三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の３ 人間科学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、子どもの教育及び発達支援に関する学問領域と人間の心理・文化に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　児童・幼児教育学科は、子どもの教育及び発達支援に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　心理・文化学科は、人間の心理と文化に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。

	大学全体	人間科学部	
		児童・幼児教育学科	心理・文化学科
卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	児童・幼児教育学科では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（教育学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・保育者として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・保育者としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	心理・文化学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（文学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間の心理と文化に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	児童・幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童教育コースと幼児教育・保育コースの２コースで構成し、教育者・保育者として必要な子どもの教育および発達支援に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、学科共通科目を初等教育領域、特別支援領域の２領域、コース科目を児童教育コース、幼児教育・保育コースの２コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	心理・文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間の心理と文化に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実技・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	児童・幼児教育学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 子どもの教育や発達支援に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	心理・文化学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間の心理や文化に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和６年度九州女子大学三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的		学則第３条の２ 家政学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、人間生活とその環境に関する学問領域と食と栄養に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　生活デザイン学科は、人間生活とその環境に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　栄養学科は、食と栄養に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた管理栄養士の育成を目的とする。	学則第３条の３ 人間科学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、子どもの教育及び発達支援に関する学問領域と人間の心理・文化に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　児童・幼児教育学科は、子どもの教育及び発達支援に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　心理・文化学科は、人間の心理と文化に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。

	大学全体	生活デザイン学科	栄養学科	児童・幼児教育学科	心理・文化学科
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。 その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	生活デザイン学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間生活とその環境に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 管理栄養士として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 食と栄養に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 管理栄養士として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	児童・幼児教育学科では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（教育学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・保育者として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・保育者としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	心理・文化学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（文学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間の心理と文化に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	生活デザイン学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間生活とその環境に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的な知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、専門基礎分野、専門分野に区分し、専門基礎分野を「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」の３領域、専門分野を「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」「総合演習」「臨地実習」の８領域で構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	児童・幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童教育コースと幼児教育・保育コースの２コースで構成し、教育者・保育者として必要な子どもの教育および発達支援に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、学科共通科目を初等教育領域、特別支援領域の２領域、コース科目を児童教育コース、幼児教育・保育コースの２コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	心理・文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間の心理と文化に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実技・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	生活デザイン学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間生活とその環境に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	児童・幼児教育学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 子どもの教育や発達支援に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	心理・文化学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間の心理や文化に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和５年度九州女子大学 三つのポリシー（DP・CP・AP）

学則第３条（学是）	本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成する。

人材養成及び教育研究上の目的		学則第３条の２ 家政学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、人間生活とその環境に関する学問領域と食と栄養に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　生活デザイン学科は、人間生活とその環境に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　栄養学科は、食と栄養に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた管理栄養士の育成を目的とする。	学則第３条の３ 人間科学部は、学是「自律処行」の精神に基づき、子どもの教育及び発達支援に関する学問領域と人間の心理・文化に関する学問領域において専門的教育・研究を行い、各専門分野の知識・技能と幅広い教養を身に付け、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　児童・幼児教育学科は、子どもの教育及び発達支援に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。 ⑵　心理・文化学科は、人間の心理と文化に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目的とする。

	大学全体	生活デザイン学科	栄養学科	児童・幼児教育学科	心理・文化学科
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。 その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、学位（学士）を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション・スキルを用いて円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	生活デザイン学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間生活とその環境に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（家政学）を授与する。 **知識・技能** 管理栄養士として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 食と栄養に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 管理栄養士として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	児童・幼児教育学科では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（教育学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・保育者として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・保育者としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	心理・文化学科では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位（文学）を授与する。 **知識・技能** 教育者・企業人として相応しい教養を備え、専門領域の知識・技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 教育者・企業人としてのコミュニケーション・スキルを身に付けている。 2. 人間の心理と文化に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 教育者・企業人として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、総合共通科目の教育内容と連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	生活デザイン学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間生活とその環境に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を家庭科教育コース、インテリアデザインコース、ライフデザインコースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的な知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、専門基礎分野、専門分野に区分し、専門基礎分野を「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」の３領域、専門分野を「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」「総合演習」「臨地実習」の８領域で構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	児童・幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童教育コースと幼児教育・保育コースの２コースで構成し、教育者・保育者として必要な子どもの教育および発達支援に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、学科共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、学科共通科目を初等教育領域、特別支援領域の２領域、コース科目を児童教育コース、幼児教育・保育コースの２コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	心理・文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、教育者・企業人として必要な人間の心理と文化に関する専門的知識と技能を体系的に学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、学部共通科目、コース科目およびゼミナール科目に区分し、コース科目を心理学コース、国語・書道教育コース、文化文芸コースの３コースで構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。 3. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実技・実験・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）は、身に付けた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を達成しようとする人を受け入れる。 また、高等学校等において、それぞれの学科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	生活デザイン学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間生活とその環境に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	児童・幼児教育学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 子どもの教育や発達支援に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	心理・文化学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 人間の心理や文化に関心を持ち、思考力・判断力・表現力を身に付けようとする姿勢を有する。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和４年度　九州女子大学三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする。

人材養成及び教育研究上の目的		学則第３条の２ 家政学部は、学是「自律処行」の理念に立脚し、共生・健康・福祉の視点から、教育・研究を行い、各専門分野の知識・技術と幅広い教養を身につけ、社会に貢献できる豊かな人間性と倫理性を備えた人材を養成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　人間生活学科は、人間の生活を、共生と再生の観点から、生活経営、情報を基礎として、衣・食・居住環境の各領域から科学的に解明できる素養をもった人材の育成を目的とする。 ⑵　栄養学科は、食と栄養に関する高度な専門性と広い視野を備え、人々の健康と福祉に貢献できる人間性豊かな管理栄養士の育成を目的とする。	学則第３条の３ 人間科学部は、学是「自律処行」の理念に立脚し、文化に関連する学問領域と人間の発達にかかわる学問領域において高度な専門的教育・研究を行い、国際感覚と幅広い教養を身につけ、高度な専門性を持って地域社会に貢献できる人材を育成するため、学科の教育目標を次のとおりとする。 ⑴　人間発達学科は、人間が豊かに暮らす社会・文化を創造する広い視野と学際的教養及び人間の発達についての専門的知識と技能を身につけ、乳幼児から高齢者に至るまで全世代の人々、及び障害者が豊かに共生しうる地域社会を創造・実現していく専門的職業人を育成することを目的とする。 人間発達学科の教育目標を実現するために、学科に「人間発達学専攻」、「人間基礎学専攻」の２専攻を置き、各専攻の教育目標を次のとおりとする。 イ　人間発達学専攻は、多様な人間の発達及び対人援助について専門的知識と技能を身につけ、発達諸問題に対応できる柔軟で創造的な人材の育成を目的とする。 ロ　人間基礎学専攻は、幅広い教養に併せて心理学・日本文化及び情報処理等に関する実践的能力や免許・資格を有する人材の育成を目的とする。

	大学全体	人間生活学科	栄養学科	人間発達学科人間発達学専攻	人間発達学科人間基礎学専攻
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の理念のもとに、各学科の課程を修め、所定の期間在学し、所定の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、自らの考えを組み立て、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを目指します。 この基本理念をもとに強くてしなやかな女性を育成することを目的とします。 その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・理解、汎用的技能、態度・志向性）から構成し定め、目標を達成して卒業する学生に学位を授与します。 **知識・理解** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連つけて理解している。 **汎用的技能** 日本語を始めとする複数の言語及び多様なコミュニケーションの方法を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むための課題発見力、論理的思考力及び課題解決力を有している。 **態度・志向性** 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、他者と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする態度を有している。	人間生活学科では、衣・食・住の知識・技能・社会のルールに従った態度等を修得し、これらをもとに自らの考えを組み立て、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを目指します。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。 **知識・理解** 家政学士として相応しい教養を身につけ、衣分野・食分野・住分野それぞれの知識、技術および考え方を体系的に理解し、科学的に解明できる。 **汎用的技能** 1. 衣分野・食分野・住分野それぞれの知識、技術を用いて、社会に求められる情報を提供することができる。 2. 地域や社会における課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。 **態度・志向性** 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、地域や社会の一員としての意識を持って、協調性を発揮し、学びを活かして地域・社会に貢献することができる。	栄養学科では、管理栄養士に求められる知識・技能・社会のルールに従った態度等を修得し、自らの考えを組み立てることで、課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを目指します。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。 **知識・理解** 管理栄養士として相応しい教養を身につけ、専門領域の知識、技術を修得し、理解している。 **汎用的技能** 1. 管理栄養士としてのコミュニケーション・スキルとホスピタリティを身につけている。 2. 食と栄養の課題に取り組むための課題発見、論理的思考力及び課題解決力を有している。 **態度・志向性** 自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、協調性を持って、人々の健康と福祉に貢献することができる。	人間発達学専攻では、教育者・保育者に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することができることを目指します。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。 **知識・理解** 教育者・保育者に相応しい広い視野と学際的教養を身につけ、専門領域の知識・技能および考え方を体系的・構造的に理解している。 **汎用的技能** 1. 子どもを取り巻く人的環境・特性を理解し、子どもや保護者などとの円滑なコミュニケーションをとることができる。 2. 教育・保育における課題に対して、課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。 **態度・志向性** 将来の教育者・保育者として自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、協調性をもって、地域や社会の発展のために積極的に貢献することができる。	人間基礎学専攻では、教育者・企業人に求められる知識・技能・態度等をもとに、自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することができることを目指します。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。 **知識・理解** 教育者・企業人に相応しい広い視野と学際的教養を身につけ、専門的な知識や技能を、教育や企業のあり方と結びつけて理解している。 **汎用的技能** 1. 社会人としてのコミュニケーション・スキル及び情報リテラシーを身につけ、活用することができる。 2. 教育・企業社会における課題に対して、課題発見・解決能力、論理的思考力を有している。 **態度・志向性** 将来の教育者・企業人として自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動し、地域や社会の発展のために積極的に貢献することができる。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目は、心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 専門教育科目は、各学科・専攻の専門教育と教養教育との連携強化を図り、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学び（アクティブ・ラーニング）を引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 海外研修や実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。	人間生活学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、人間の生活を科学的に解明するために必要な衣・食・住・生活経営・情報等に関する専門的知識と技術を学べるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「基幹」、「家庭科教員」、「インテリアデザイン」、「ライフデザイン」の４領域で構成し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 3. 専門的な知識と技術をより深く理解するための実験・実習・演習を充実させる。 **教育方法** 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 実験・実習・演習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって、総合的に評価する。	栄養学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、管理栄養士として必要な食と栄養および健康・福祉に関する専門的な知識と技術を体系的に学べるように科目を配置する。 2. 専門基礎分野として「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」の領域の科目を配置する。 3. 専門分野として「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」の領域の科目を配置する。 4. 専門的な知識と技術をより深く理解するための実験・実習を充実させる。 **教育方法** 1. 管理栄養士国家試験受験資格取得を目指して外部模擬試験や e-ラーニングを導入し、きめ細やかな個別指導を行うなど、徹底した管理栄養士養成教育を実施する。 2. 実験・実習・演習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、問題解決能力を育成する。 3. 臨地実習は、実践活動の場での問題発見、解決を通して専門知識と技術の統合を図り、管理栄養士としての実践能力を身につける。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、管理栄養士総合演習（必修）によって、総合的に評価する。	人間発達学専攻では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、児童発達コースと乳幼児発達コースの２コースで構成し、人間の発達に関する専門的知識と技術を学ぶことができるように、系統的に科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「児童発達」、「乳幼児発達」、「特別支援教育」の３分野で構成し、基礎科目と基幹科目に区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、体系的に学べるよう科目を配置する。 **教育方法** 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 演習・実験・実習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究論文は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業研究論文（必修）によって、総合的に評価する。	人間基礎学専攻では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置します。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。 **教育内容** 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目を配置し、心理学、国語・書道、図書館・情報の３コースで構成し、心理学・日本文化及び情報処理等に関する実践的能力や免許・資格に関する専門的知識と技術を学ぶことができるように科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「心理学」、「国語・書道」、「図書館・情報」の３分野で構成し、基礎科目と基幹科目に区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるよう科目を配置する。 **教育方法** 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 演習・実験・実習においてはグループ学習を取り入れ、協調性を身につけるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 卒業研究論文は、身につけた知識・論理的思考力・分析力を活用し、自らの選んだ研究の成果が実を結ぶようにきめ細やかな個別指導を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによってその内容と位置づけを明確にし、成績評価基準に基づき単位を付与する。 2. ４年間の学修成果は、卒業研究論文（必修）によって、総合的に評価する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れます。 また、高等学校もしくは中等教育学校において、それぞれの学科・専攻が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科・専攻の教育目標に応えて真摯に学問修得に励む人を広く求めます。	人間生活学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、安全・安心・快適な衣生活、食生活、住生活を創造し、科学的に追求します。 入学者には次のような人を求めます。 1. 高等学校もしくは中等教育学校で、全ての科目の基礎となる国語・英語と家庭科を中心とした基礎学力を身につけている。**（知識・技能）** 2. より良い生活を実現するために広い視野から柔軟な思考や判断を試みることができる。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 部活動やボランティア活動等、人や地域と積極的にかかわろうとする意欲がある。**（主体性・協働性）**	栄養学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、食と栄養に関する高度な専門性を追求します。 入学者には次のような人を求めます。 1. 高等学校もしくは中等教育学校で、食品と栄養素や人体の構造と機能、疾病などの理解に必要な基礎学力を身につけている。**（知識・技能）** 2. 食と栄養、健康、医療、福祉について関心を持ち、論理的思考力、課題解決力を有する管理栄養士として働く意欲がある。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 主体性をもって行動し、他の者との協調性を発揮できる。**（主体性・協働性）**	人間発達学専攻は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、人間の発達や社会との関わりについて強い関心を持ち、習得した知識や技能を教育や保育を通して他者のために生かして、積極的に社会に貢献することを目指します。 入学者には次のような人を求めます。 1. 高等学校もしくは中等教育学校で、基礎学力およびコミュニケーション力を身につけている。**（知識・技能）** 2. 子どもと実際に関わっていくために必要な論理的思考および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 人間のこころ、育ちや教育について興味・関心を持ち、教育者・保育者として、他者への思いやり、地域・社会に貢献しようとする意志を持っている。**（主体性・協働性）**	人間基礎学専攻は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、人間の心理や文化に強い関心を持ち、教育や文化の創造・発信を通して社会に貢献することを目指します。 入学者には次のような人を求めます。 1. 高等学校もしくは中等教育学校で、基礎学力を身につけるとともに、国語力、情報処理能力、コミュニケーション力を身につけている。**（知識・技能）** 2. 論理的に考える力を有するとともに、課題を解決する力を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 人間の心理や文化に強い関心を持ち、これらに関する知識や技能を深めることに熱意を持ち、教育や文化の創造・発信を通して社会に貢献しようとする意志を持っている。**（主体性・協働性）**